

**三原市立本郷小学校 第2学年 道徳科学習指導案**  
**教材名：「七つの星」**

指導者 大空 優紀

- 1 日 時 平成30年12月6日(木) 第5校時(13:55~14:40)
- 2 場 所 2年2組教室
- 3 学 年 2年2組(男子13名, 女子12名 計25名)
- 4 主 題 名 うつくしい心 D 感動, 畏敬の念
- 5 本時のねらい 自分のこと以上に相手のことを思う女の子の気持ちを考えることを通して, 人の心の美しさに気づき, 感動する心情を育てる。
- 6 教 材 名 「七つの星」(「小学道徳 生きる力2」日本文教出版)
- 7 主題設定の理由

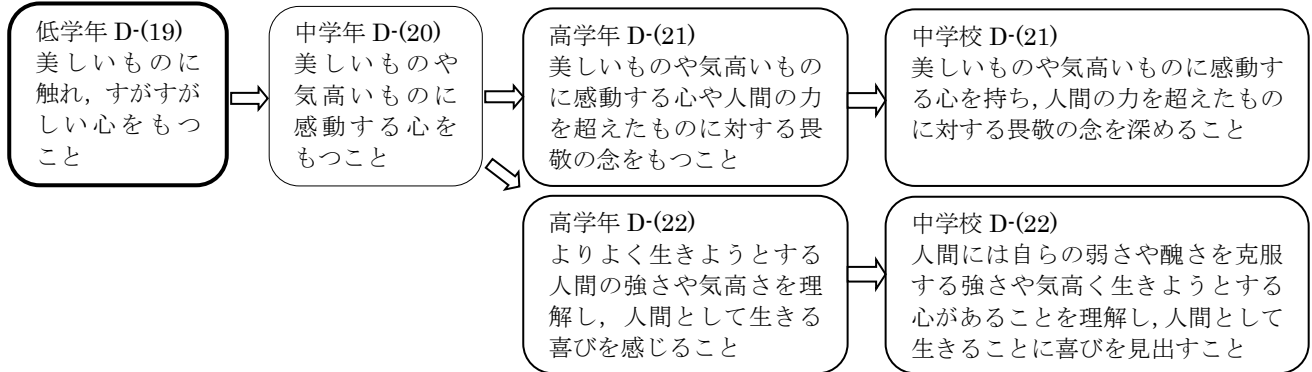
**(1) 主題について**

小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」の(21 感動, 畏敬の念)の1・2年生指導内容項目の中で, 「美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。」を取り上げている。

自然が織りなす美しい風景や人の心の奥深さ, 清らかさを描いた文学作品などに触れて素直に感動する気持ちや, 人の心の優しさや温かさなど気高いものや崇高なものに出会った時の尊敬する気持ちなどを, 児童の心の中により一層育てることが大切である。そのためには, 学校における自然体験活動や読書活動など, 美しいものや気高いものなどに会う機会を多様に設定することが求められる。

児童の発達段階においては, 特に, 児童の生活の中に存在している身近な自然の美しさや心地よい音楽, 芸術作品などに触れて気持ち良さを感じたり, 物語などに語られている美しいものや清らかなものに素直に感動したりするような体験を通してすがすがしい心をもてるようにすることが大切である。

**【内容項目とその系統】**



**(2) 児童観**

本学級の児童は, 学校生活で自然体験活動や読書活動を行った際, 美しい風景や文学作品に素直に感動し, 感嘆の声を出したり, 憧れの気持ちをもったりすることが多い。しかし, 自宅でゲーム機やスマートフォンのアプリゲームで遊んでいる児童が多く, 美しいものや気高いものなどに会う機会がまだ少ないことが考えられる。

「美しいもの」と聞いて, どんなものを思い浮かべるかをアンケートした結果, 『美しい』の意味がよく分からない」と答えた児童が40%(10/25人), 残りの児童の回答には, 宝石やメダルなどのキラキラ光るもの, 花や星, 海, 雪の結晶などの自然に関わるものも多く見られた。これらの結果から, 児童の中には「美しい」の意味が分からない児童が多いこと, それ以外の児童は「美しい」の意味を「キラキラ光るもの」「きれいなもの」「高価なもの」と捉えて

おり、色で表すと「金色」や「銀色」と捉えている児童が多いことが分かった。そのため、資料に出てくるダイヤモンドや星が「美しい」と捉えることはできるが、実態のない心を「美しい」と捉えることが難しいという実態が明らかになった。

### (3) 指導観

本教材は、昔日照り続きの日に、女の子が病気のお母さんのために水を探しに行くところから始まる。やっと手に入れた水を倒れている犬にやると、木のひしゃくが銀のひしゃくになる。次に、家に帰ってのこりの水をお母さんに飲ませようとする、お母さんが「おまえ、先におのみ。」と言、銀のひしゃくが金のひしゃくになる。さらに、水を求めて疲れた旅人やって来て、女の子がひしゃくをわたすと、ひしゃくの中から大きなダイヤモンドが7つとび出す。そのダイヤモンドが空高くのぼり、七つの星、つまり北斗七星になるという内容である。このように、自分のこと以上に相手のことを思う女の子の気持ちを話し合うことを通して、美しい心とはどのようなものかということを考えることができる教材である。

指導にあたっては、主体的な学びをしていくために、最初に「美しい心」について考えるという問題提示をすることによって課題発見解決的な見通しを持たせる。

対話的な学びをしていくために、全体で話し合うだけでなく、ペアトークを取り入れて、友達の見解にふれさせる。中心発問においては自己内対話をしながら自分の考えを道徳ノートに書かせる。その後、全体で話し合い、自分や友達の見解に共感したり比べたりできるように板書に整理する。

深い学びをしていくために、つばを飲み込んで、旅人にひしゃくを渡した女の子の気持ちを考えさせる。その際、女の子自身もつらい状況であり、自分中心の考えではなく、旅人に対する「寄り添う心」から、旅人に水を譲ってあげたことを押さえる。中心場面では、ひしゃくの色が変わったり、ひしゃくからダイヤモンドがとび出したりした理由を考えさせる。それによって、自分のこと以上に相手のことを思う心の「美しさ」に気付かせる。そのうえで、終末では、自分の身の周りの美しい心が表れた行動を見付ける活動を取り入れる。そして、美しい心が表れた行動を見付け、発表する度に大型テレビに映した夜空の画像に星を増やしていく。児童の発表が終わり、画面に星が集まったところを見せ、児童が見つけた行動、その行動を見つけた児童の中の両方に「美しい心」であることを、星でいっぱいになった小黒板を見て感動する心もまた「美しい心」であることを体験的に実感させ、美しい心について多面的・多角的にとらえさせたい。

### ◎研究テーマとの関係

#### 【研究主題】

「誰もが学ぶ喜びと自信がもてる、主体的・対話的で深い学びの創造」

#### ○主体的な学び

- ・導入時に道徳的問題にふれ、課題意識をもつ。
- ・自分自身との関わりでとらえ、考える。
- ・新たな学びを自覚する。

#### ○対話的な学び

- ・協働し、対話する学び。
- ・多面的・多角的に考える。

#### ○深い学び


- ・教師の指導方法の工夫により、新たな気づきや変容がある。

## 8 本時の展開

### (1) 準備物

場面絵、道徳ノート、大型テレビ

### (2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (※評価)
導入	1 展開後半への見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「美しい心」とはどんな心でしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい心</li> <li>・正直な心</li> <li>・思いやりがある</li> <li>・きれいな心</li> <li>・温かい心</li> </ul>	<p>① 「美しい心」について今の捉えを共有し、本時の学習への見通しをもたせる。</p> <p>○最初に問題提示をすることによって課題発見解決的な見通しを持たせ、展開や終末を通して価値が広がるようにする。</p>
展開	 <p>2 教材「七つの星」を聞いて話し合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">うつくしいところ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">つばを飲み込んで、旅人にひしゃくを渡した女の子は、どんな気持ちだったでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私も飲みたいけれど、疲れ切っている旅人を放ってはおけない。</li> <li>・お母さんが私に譲ってくれた水だけど、お母さんは私の気持ちをわかってくれるだろう。</li> <li>・今この水は私よりも旅人さんにこそ必要なものだ。</li> <li>・私はまた水を探せば済むから、死にそうな旅人さんにあげた方がいい。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;">なぜひしゃくは木から銀、金へとかわり、そこからダイヤモンドが飛び出してきたのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子が自分もつらいのに犬や旅人を助けようとしたから。</li> <li>・女の子やお母さんが、自分よりも相手のことを思っていたから。</li> <li>・女の子やお母さんの相手を大切に思う心が、ダイヤモンドのように美しかったから。</li> </ul>	<p>① 資料に登場する北斗七星の写真を見せながら紹介し、それにまつわるお話を読むという見通しをもたせる。</p> <p>○場面絵を貼ったり、ひしゃくの変化を確認したりしながら資料を読み、お話の流れが読み取りやすいようにする。</p> <p>② 病気の母が自分のために譲ってくれた水であること、自分も疲れ切っていて水が飲みたいことを押さえたうえで、見ず知らずの旅人にひしゃくの水を渡した女の子の気持ちを考えさせる。補助的に「女の子は水を飲まなくても平気なのですか。」と発問する。</p> <p>○女の子自身もつらい状況であり、自分中心の考えではなく、旅人に対する「寄り添う心」であることを押さえる。</p> <p>③ 道徳ノートに自己内対話をしながら、自分の考えを書く。</p> <p>④ ひしゃくの変化を通して、自分よりも相手を思う心の「美しさ」に気付かせる。補助的に「人を助けようとしたらどうしてダイヤモンドが出るのですか。」と発問する。</p> <p>○一連の「自分はさておき他者の</p>

	<p>3 本時のねらいにつながる心について振り返る</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       誰かの行動をみて、「すてきだな」とか「いいな」と思い、心の中でダイヤモンドや星がキラキラと光ったことがありますか。それは、どんなときですか。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車に乗っていたときに、お年寄りに席を譲ってあげている人がいた。</li> <li>・〇〇さんが、体調が悪かったときに心配して声をかけてくれた。</li> <li>・〇〇君が、素直に「すごいね」と声をかけてくれた。</li> <li>・〇〇さんがなわとびの練習を一生懸命していた。</li> <li>・〇〇君がみんなのために教室のごみをひろっていた。</li> </ul>	<p>ために尽くそうとする」母娘の思いが、七つの星になっていることに気づかせる</p> <p>④ペアトークを行い、友達の考えにふれる。</p> <p>○机間指導を行い各児童の考えを把握し、次の指名に役立てる。</p> <p>⑤これまでの生活の中で美しい心が表れた行動を思い起こさせ、価値づける。また、児童が発表するごとに、大型テレビで提示した夜空の画像に星を増やしていく。</p> <p>○物語の母娘のように、極限の状態でも相手に尽くすという経験は児童にとって身近ではないため、例を示すことで、児童が実際の生活に近づけて考えられるようにする。</p> <p>※自分の中にある美しい心を大切にしようとする心情を深め、今後の生活に自分なりに発展させていこうとしたか。(ノート 発表 見取り)</p>
<p>終末</p>	<p>4 「美しい心」についての自分の新たな学びを感じる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       「美しい心」とは…     </div>	<p>⑥児童が見つけた行動、その行動を見つけた児童の中の両方に「美しい心」があり、星でいっぱいになった画面を見て感動する心もまた「美しい心」であることを伝え、余韻をもって終わる。</p>

